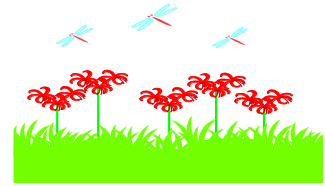


# 名細支会通信



平成21年9月1日発信

## ■地域のあらまし

名細と書いて「なぐわし」と読みます。地区内には、ほぼ南から北に入間川、中央部を小畦川が流れており、初秋には曼珠沙華の鮮やかな赤が入間川の堤防を染めます。

また、現在小畦川沿いには「新清掃センター」の工事が進められており、まもなく完成の予定です。



建設が進む、「川越市資源化センター」の全景

## ■支会のあゆみ

- 昭和30年 鯨井、上戸、小堤、小堤区、下小坂、平塚、平塚新田、吉田、天沼新田、下広谷南、下広谷北の11自治会で名細地区区長会を結成する。
- 昭和32年 天金山の自治会が加盟する。
- 昭和40年 みどり会、みよしの、広谷新町の3自治会が加盟する。
- 昭和45年 名細地区自治協議会に名称変更。
- 昭和50年 川越市自治会連合会名細支会に名称変更。  
住友あおい、鯨井新田、つくし、川越ビレジ、ハイラーク川越、吉田新町の6自治会が加盟。
- 昭和60年 ファミリータウン春日、吉田新町1丁目、かわつる初雁団地の3自治会が加盟。

- 平成 元年 県営小堤団地が加盟。
- 平成 5年 市営小堤団地が加盟。
- 平成 6年 吉田新町、吉田新町1丁目、かわつる初雁団地の3自治会が川鶴支会として名細支会から分離独立する。
- 平成21年 小堤東団地が小堤区から分離独立し、現在24自治会となっている。

## ■主な活動

- ・環境美化活動（ごみゼロ運動）
- ・防犯推進活動（講演会の開催、駅前立哨指導、年末年始防犯活動）
- ・社会福祉活動（敬老事業、募金活動）

## ■名細地区の文化財

- ・五穀豊穰を祝う農民芸能の無形民俗文化財 「鯨井の万作」
- ・200～300年以上の伝統ある無形民俗文化財 「下小坂の獅子舞」
- ・室町時代の作と思われる直径2.5cmの「上戸・日枝神社の懸仏」
- ・昭和37年工場建設に伴い出土した6世紀から7世紀初頭の「下小坂古墳群出土品」等



## ■写真で見る「なぐわし」地区



### ▲河越館跡（常楽寺）

河越館跡は、鎌倉時代から南北朝時代にかけて有力な関東武士であった河越氏の館跡の遺跡であり、中世武家政権を支えた在地領主の態を究明する上においてきわめて重要な遺跡です。



### ▲下小坂の大ケヤキ

二本のケヤキは、社殿に向かって右側が赤櫟といわれ、幹周り600センチで高さ33メートル。左側は青櫟といわれ、幹周り595センチで高さ26メートルである。



### ▲（仮称）名細地区統合公民館